



無料で受けられる予防接種があります

感染症から 子どもを守ろう

■問い合わせ 子ども未来課 ☎ 23-3222

ウイルスや細菌によって引き起こされる病気（感染症）を予防するためにワクチンを接種することで病気に対する抵抗力（免疫）をつけるものが予防接種です。

自分が重篤な感染症にかからないだけでなく、その病気が周りの人へ広がるのを防ぐことにもつながります。

任意接種は個人が希望して受けるもので、予防接種法に定められていない予防接種や定期接種の対象年齢をこえて受ける予防接種です。基本的に自己負担があります。



市では、任意接種である「おたふくかぜ予防接種」2回分の費用を無料にしています。対象は、1歳以上就学前のお子さんです。

予防接種には、定期接種と任意接種があります。

定期接種は予防接種法に基づいて行われ、対象年齢のうちに受ければ費用は無料です。



定期予防接種の種類	対象・期間
ロタウイルス感染症	令和2年8月1日以降に生まれた人 ①経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン：出生6週0日後から24週0日後までの人 ②五価経口弱毒生ロタウイルスワクチン：出生6週0日後から32週0日後までの人 ※①か②を選んで接種します。
ヒブ（インフルエンザ菌b型）	生後2か月以上5歳未満
小児用肺炎球菌	
B型肝炎	生後2か月以上1歳未満
四種混合 （百日せき・破傷風・ジフテリア・不活化ポリオ）	生後3か月以上7歳6か月未満
BCG	生後5か月以上1歳未満
麻しん風しん混合	第1期：生後1歳以上2歳未満
	第2期：5歳以上7歳未満の保育所・幼稚園等の年長児 （平成26年4月2日～平成27年4月1日生まれ）
水痘（みずぼうそう）	生後1歳以上3歳未満
日本脳炎	第1期：生後6か月以上7歳6か月未満
	第2期：9歳以上13歳未満
二種混合（破傷風・ジフテリア）	11歳以上13歳未満
子宮頸がん予防（HPV）	小学6年生～高校1年生の女子 ※現在、積極的な勧奨は行っていません。

市内の協力医療機関で実施します（BCGのみ集団接種）。事前に予約をして、お出かけください。

